



ゆりぐみだより



2022年度 1月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

あけましておめでとうございます。

お正月休みをそれぞれのご家庭で楽しく過ごされたことと思います。卒園まで残すところあと3か月となりましたが、みんなで日々楽しい思い出を作っていきたいと思います。

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。



☆大掃除☆

大掃除をしました。夏に大掃除した時に苦戦した水に濡らした後の雑巾絞りが、できるようになりコツを掴んだ様子でした。椅子や床、棚や自分のロッカーなど拭くと『ここを綺麗にしよう』とゴシゴシと磨き、綺麗になると『次は〇〇だ』と次々にお部屋が綺麗になっていきました。自分たちのお部屋だけではなく、ホールや廊下なども掃除をしました。ホールでは、雑巾がけレースをすると子どもたちから『足はつま先で立って、お尻を上げた方が前に進むよ』とアドバイスし合う姿が見られました。保育園だけではなく『お家も大掃除しよう』と張り切っていました。

☆鏡もち作り☆

鏡もち作りの由来（みんなのお家が神様にわかるために）を伝えると『そうなの？なら鏡もち大きく作ろう』と話をしていました。まずはお米から餅に変わる様子を見学すると『いいにおいするね、おいしそう』とすぐに食べたい欲が出ていました。餅を、鏡もちの形に手でこねている時も『おいしそう』という声が聞こえてきました。餅をバランスよく二段にする子や、パパママの分まで作ろうとする子が見られました。作り方にこだわりが見られ、保育者が『これで完成？』と聞いても『まだここが』と職人さんのようになっていました。完成した鏡もちをカップの中に入れて満足そうな表情で眺めていました。

☆沢山の拍手を自信に☆

12月に入ると『もうすぐ発表会だね』と楽しみにしていた子どもたち。初めて衣装を着た時、女の子たちは鏡でこっそり見たり、男の子たちはお互いの衣装を褒め合ったりして、どの子もやる気満々、早くお家の人に見てもらいたいと話していました。他クラスに劇や合奏を見せようと恥ずかしさでいつも以上に声が出ませんが、子ども同士で『ここは〇〇しよう』などアドバイスをし合っていました。

当日はちょっぴり緊張の表情でしたが、幕が上がると笑顔が見られ楽しそうにしていました。一人一人の自己発揮する様子に就学間近と感じるひと時となりました。発表会が終わってからは『うちのママ感動して泣いたんだよ』『頑張ったねって褒めてもらったよ』など嬉しそうに教えてくれました。自信が新たな意欲・活力となってくれると思います。温かい応援や拍手ありがとうございました。

☆クリスマスバイキング☆

『クリスマスバイキングまであと少し』と楽しみにしていた子どもたち。当日は、いつもと違うホールを見て『うわーすごい』『クリスマスだ』と嬉しそうにしていました。席に座るとクリスマス用のランチョンマットが用意され『これかわいい、持って帰りたい』という子がいました。唐揚げやプロッコリーが大人気で、いつも以上によく食べたり、お友だちとお話しながら食べたりと嬉しそうでした。バイキングが終わっても余韻に浸り、おままごとでバイキングごっこをして楽しんでいました。